

学年末試験が終わり、3月に入りました。

本日3月3日は「ひな祭り」。「桃の節句」とも呼ばれます。平安時代ごろに中国から伝わった五節句の一つだそうです。

令和6年度も残すところ1ヶ月となりました。先週末で全学年学期末試験を終えました。今週には答案が返却されます。手応えはありましたか。1年生のみなさんも入学後5回目のテストでしたから、もうそろそろ自分のテスト勉強スタイルが分かって来たはずですよ。これまでもみなさんにお伝えし続けてきましたが、日常の復習が大切です。英語等、一部の教科では予習も必要ですが、何より大切なのは復習です。上谷は現役時代数学科の教員でしたが、極端な話、予習は必要ないと伝えていました。「初めて、まっさら」な頭で授業を受けてもらった方が「思考する」という点で好都合だからです。一方授業で学習したことをきちんと定着させるためには復習が大切です。ワーク等を使って、その日学んだ内容をやり、答え合わせをし、よく分からないものがあれば次回までに質問等して解決する。このサイクルがめっちゃ重要です。このサイクルが機能しておれば定期テスト前にワークは一通り終わっており、2回目をやるとか、1回目つまづいた問題のみもう一度やればOK!だからテスト前に大量のページを慌ててやったり、挙げ句の果てには提出のため解答を丸写しするなんてことにはゼッタイならないのです。今後、一人でも多くの方がこのサイクルを回してくれることを期待しています。

3年生で調理実習が行われました。

先週、3年生の各クラスで中学校最後の調理実習が行われました。高校では家庭科一般という教科があるそうですが、進路先によっては履修しないようですし、実際調理実習があるかはわかりませんね。ひょっとしたら、今回が学校で行う最後の実習だったかもしれません。

今回のテーマは「災害時を想定して“蒸しパン”を作ろう!」でした。右の写真が完成した



予測困難な時代をたくましく生き抜き、よりよい社会の創り手となる生徒の育成



パンです。分かりにくいかもしれませんが、見た感じお店で売っている蒸しパンです。今回も地域ボランティアの方々がサポートで授業に参加してくださいました。本当に有り難いですね。行程を見ていたのですが、わりとカンタンに作れそうな感じでした。いつも言ってることですが、食べることは本当に大切なことです。もし災害に見舞われ、長期



“和して同ぜず”

戦を覚悟しなければならなくなった時、いかに食べるかがポイントになってくると思います。平常時のように何でも手に入る訳じゃないので、いかに工夫するかが大切です。授業では「水は最小限に」「材料はみんなと分ける」ということが確認されていました。この予測困難な時代、家庭科ってつくづく重要な教科だなんて思います。衣食住に関することはもちろん、防災教育や犯罪に巻き込まれないような消費者教育等。実生活に直結した中身なだけに、みなさんにはこれからも本気で学習してほしいと思います。

先週末、給食センターから1月の残食率の報告があり、本校全体は1.4でした。素晴らしいです。みなさんが毎日しっかり食べてくれている結果ですね。中でも3年生の残食率が0.9と1パーセントを切っています。素晴らしい結果です。さすが3年生!しかし、残念なこともあります。朝の登校時間です。8:25がラインですが、2分前を告げる予鈴が鳴った後も全く急ごうとせず、8:25のチャイム前後に笑いながら入ってきます。この態度もそうですが、上谷が一番ガックリ来ているというか怒っているのは、10人ぐらいの集団で同じ行動をしていることです。誰一人「走ろう!」とか「急ごう!」とか声をかける気配なく、ノリというかお互いがお互いに流されていることに平気になっています。「和して同ぜず」孔子の言葉が由来だそうですが、「人と協調していくが、決しておやみに同調しないこと」この考えを一人一人に持ってほしい。決して流されるな!!

